

○茨城県教育目標
 ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
 ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

○新「いばらき教育プラン」
 ○学校教育指導方針

○学校教育目標
**知性に富み，心豊かで
 たくましく生きる生徒の育成を期する**

○鹿嶋市教育目標
 ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
 ・健康と安全の確保に努め 活力ある心を育てる
 ・郷土の理解を深め 郷土を愛する心を養う

○本年度の鹿嶋市の重点施策【鹿嶋市教育基本計画（後期）】
 ①豊かな心と生きる力の育成
 ②学力の確実な向上
 ③郷土理解教育と国際理解教育の推進
 ④安心して学べる教育環境づくり



目指す
生徒像



自ら求めて，学ぶ生徒（かしこく）



豊かな心で，助け合う生徒（やさしく）



じょうぶな身体で，たえぬく生徒（たくましく）

目指す
教師像

- ・ 使命感と情熱をもち組織的に課題解決に取り組む教師
- ・ 愛情をもって，生徒をほめ・励まし・伸ばす教師
- ・ 生徒一人一人の可能性をはぐくむ心温かい教師
- ・ 常に向上心をもって研鑽を積む，保護者から信頼される質の高い教師

開かれた
学校

- 学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力して教育を推進し，魅力ある開かれた学校づくりに努める。
- ・ 学校ホームページやメール配信等を活用し，積極的な情報発信をする。
- ・ 学校支援ボランティアを活用し教育活動の活性化を図る。
- ・ 生徒健全育成委員会を開催し，連携・協力を推進する。
- ・ 学校評価を生かし，学校運営の改善を図る。

重点施策

- ・ 基礎的・基本的内容の定着を図るために，繰り返し学習や補充的な学習の工夫に努める。
- ・ 学ぶ楽しさや成就感，驚きや感動などが実感できる体験的な活動の充実を図る。
- ・ 自ら調べ，考え，表現し，探求する問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
- ・ 学び合いを生かした学習を積極的に取り入れ，学ぶ楽しさを実感させることで学習意欲を高める。
- ・ 少人数指導やTT指導によって，個に応じた指導を充実させ，わかる授業に努める。
- ・ 家庭学習を充実させ基礎学力の向上と学習習慣の定着を図る。
- ・ キャリア教育を踏まえた学習指導に努める。

- ・ 体験活動や実践活動などを関連付けた道徳教育の充実を図る。
- ・ 生徒会による各種行事等の運営・評価を推進し，自発的・自治的活動の充実を図る。
- ・ 公民館や地域の行事への積極的な参加を促すとともに地域との触れ合いをとおして，多様なボランティア精神の醸成に努める。
- ・ 「認める」「褒める」等，生徒の良さを認める教師の働き掛けを積極的に行い，温かな人間関係やお互いの信頼関係を構築するため心の教育の充実を図る。
- ・ 地域の教育力を生かした外部人材を積極的に活用し学習の活性化を図る。（地域に学ぶ）

- ・ 学校教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の充実と体力の向上を図る。
- ・ 魅力ある運動部活動の運営に努め，生徒のスポーツニーズに応える部活動の体制づくりに努める。
- ・ 生徒の心身の健康に関する指導に努め，健康管理に関する情報を積極的に提供する。
- ・ 生徒が主役となる教育活動を推進し，自信と誇りをもたせるための生徒会活動や学級活動，学校行事，部活動等の活性化を図る。
- ・ 幼小中連携を推進し，中1ギャップの解消に努める。（授業の相互参観，生徒指導連絡協議会，新入生交流会の開催等）

組織目標

○ 生徒一人一人に興味関心を喚起させる授業を展開し，基礎基本の定着を図り確かな学力の向上に努める。

○ 学校の教育活動全体を通して，最後までやり抜くたくましい心と体の育成に努める。

○ キャリア教育実践のための教育課程の編成・実践に努め，生徒が主体的に自分の未来を切り拓いて生きていくことのできる資質や能力を育成する。

数値目標

- 家庭学習 1日平均60分以上の実施率80%以上
- 読書冊数年間30冊以上の生徒30%以上
- 学校支援ボランティアの活用60名以上
- 朝食の摂取率100%
- 生活アンケートで「学校が楽しい」80%以上
- 体力テストA+B 60%以上
- 年間平均欠席率5%未満

研究推進

研究主題「生徒一人一人の未来を切り拓くためのキャリア教育の在り方」—伝え合い，つながり合う活動の実践を通して— 【平成23・24年度 茨城県教育研究会指定】